

ほろのへの窓

幌延町広報誌 No.734

2025
12
月号



今月の表紙

11月8日（土）に開催された「認定こども園生活発表会」でにじ組（5歳児）が「そうだったらいいのにな」を歌っているシーンです。最後の生活発表会、一生懸命頑張りました。

幌延町ウェブサイト <https://www.town.horonobe.jp/>



令和7年度 エネルギー関連施設見学会を開催しました！

(広報・調査等交付金事業)

令和7年11月9日から11日にかけて、エネルギー関連施設見学会(岡山県・鳥取県)を行い、幌延町在住の25名の方が参加しました。

2泊3日の日程で岡山県人形峠環境技術センター、鳥取県鳥取市中電ふれあいホールの2施設を見学しました。

日本原子力研究開発機構が事業を行う、人形峠環境技術センターでの事業概要についての説明を受け、実際にウラン採鉱をしていた坑道やウラン濃縮原型プラントなどの施設を見学することができました。また、中電ふれあいホールでは、日本の電気に係る基礎的な説明と今後の展望についての説明を受け、改めて日本を取り巻く電気事情を勉強することができました。

この見学会を通じて、今後もより一層エネルギーに対する認識や関心を高めていただきたいと思います。



▶人形峠ウラン見学坑道



▶人形峠環境技術センター入り口前



▶中電ふれあいホール

令和8年 二十歳の集い

対象者一覧

No.	地 区	氏 名	No.	地 区	氏 名
1	1 条	PHYU PHYU SIN	11	元町	佐 藤 花 奏
2	2 条	關 戸 真 生	12		佐 藤 晃 平
3	6 条	谷 藤 結	13	宮園町	寺 澤 吏 珀
4		臺 川 瑛 太	14		黒 金 杏 奈
5		梅 本 彩 愛	15		大 山 絢 華
6		佐 藤 す ず	16		岸 恵 伍
7	幌 延	島 田 拓 歩	17	下沼	加 藤 煌 大
8		村 上 湖 太	18		木 村 颯
9		M ARIL ARDIANSAH	19		無量谷 優 花
10	栄 町	栗 野 弘 大	20	問寒別	遠 藤 康 真

※下記①及び②に該当し掲載許可をいただいた方のみ掲載

●日 時 令和8年1月5日(月) 午後1時30分～

●会 場 国際交流施設 多目的ホール

●その他 本町の記念行事の対象年齢は、20歳(学齢期)とします。

【対象となる方】

- ① 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの方で、町内に在住している方。
- ② 上記期間中に生まれ、町内中学校の卒業生で、保護者が町内に在住している方。
- ③ 上記期間中に生まれ、町内小中学校に在籍していたが、転校、進学などで本人、保護者ともに町内に在住していない方で、本人もしくは保護者からの出席の申し出がある方。

※③にあてはまり、まだ出席の御連絡をいただいていない方は、下記お問い合わせ先にご連絡ください。

お問い合わせ先:教育委員会 社会教育係 電話:5-1117 告知端末機:5-8817 幌延町生涯学習センター 電話・告知端末機:5-1321

12月に開催予定のイベント情報のお知らせ

＼クリスマスはトナカイ牧場で楽しもう♪/
トナカイホワイトフェスタ 2025



日時:12月20日(土) 11時～15時
場所:ほろのべトナカイ観光牧場
内容:・トナカイそり運行
・スノーモービル
・ホットミルク、乳製品の無料配布
・キッチンカー出店予定

トナカイさんのお仕事紹介

トナカイ観光牧場で暮らすトナカイさん達は、12月になると牧場や町内外で催されるクリスマス会やイベントに呼ばれるので大忙しとなります。

雄武町、ニセコ町に出張予定です！

クリスマスツリー展示のご案内

今年も地元の山林から産出される間伐材を活用したクリスマスツリーを、こども園の園児の皆さんが飾りつけてくれます。

12月8日(月)から12月25日(木)まで役場庁舎1フロビーに展示しますので、ぜひ、幌延町産のクリスマスツリーを見に来てください。



お問い合わせ先:産業建設課 商工林政係 電話:5-1115 告知端末機:5-8815

幌延深地層研究センターについて

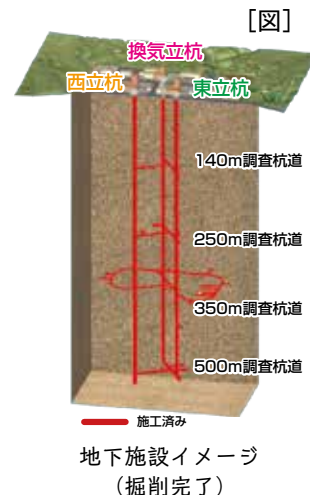
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（JAEA）幌延深地層研究センターは、原子力利用を Sustainable（持続可能）、Ubiquitous（多様化）なものとするために、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発を行っています。

1. 地下施設整備の状況【図 現在：掘削完了、仕上・設備工事中※令和7年10月31日現在】

令和7年度は、深度500mまでの立坑・深度500m水平坑道の掘削を完了しました。

【立坑掘削深度】換気立坑500m（掘削完了：令和7年1月22日）
東立坑500m（掘削完了：令和6年9月5日）
西立坑510m（掘削完了：令和7年5月24日）

【水平坑道掘削長】深度140m調査坑道186.1m、深度250m調査坑道190.6m
深度350mの調査坑道823.1m
深度500mの調査坑道208.1m
（掘削完了：令和7年9月4日）



2. 研究課題

令和7年度は、地下施設にて第4期中長期計画に掲げた次の3つの課題の達成に向けた調査研究を進めています。

- (1) 実際の地質環境における人工バリアの適用性確認
- (2) 処分概念オプションの実証
- (3) 地殻変動に対する堆積岩の緩衝能力の検証

3. 施設見学

ゆめ地創館

【開館時間】午前9時～午後4時

【定休日】毎週月曜日（月曜日が祝日または振替休日の場合は翌水曜日）、年末年始（12/29～1/3）

【来館者数】5,907名（令和7年4月～10月末）

地下施設見学会

【見学者数】566人（令和7年4月～10月末）

令和7年4月～10月は掘削作業を行っていたため第2、4日曜日に開催しておりましたが、11月以降は掘削工事完了に伴い毎週火・木曜日に地下施設見学会を開催しております。

地下を体験できる貴重な機会となっていますので、ぜひご参加ください。

地上施設見学会

令和7年度は火・水・木曜日に実施しています。

バーチャル地下施設見学などを体験できます。

4. ホームページ

幌延深地層研究センターのホームページでは、地下施設や調査研究の状況を適宜掲載しています。是非ご覧ください。

◇ホームページURL：<https://www.jaea.go.jp/04/horonobe/index.html>



5. 幌延深地層研究センターによる幌延町への経済効果

幌延深地層研究センターが平成13年に開所してから毎年、地元への経済効果についてお知らせしています。令和6年度の実績は以下のとおりです。

職員および家族の人数	機構発注		JV・共同研究機関発注
	工事請負・業務委託・物品購入・借上・その他	社宅・寮賃貸借契約	工事請負・業務委託・物品購入・借上・その他
職員 51名 家族 33名	発注額 79百万円	発注額 57百万円	発注額 229百万円
計 84名	発注額合計 365百万円		

※ このほか、同センターの地元雇用、従業員などの町内消費、町税収入、電源立地地域対策交付金などがあります。

6. 幌延深地層研究計画に関する協定および条例について

北海道、幌延町、原子力機構の三者で締結した「幌延町における深地層の研究に関する協定書（三者協定）」と幌延町議会の議決を経て施行された「深地層の研究の推進に関する条例（町条例）」を遵守して研究を進めています。

幌延深地層研究センター地下施設20年の歴史 幌延深地層研究センター職員の紹介



④深度350m調査坑道での本格的な試験



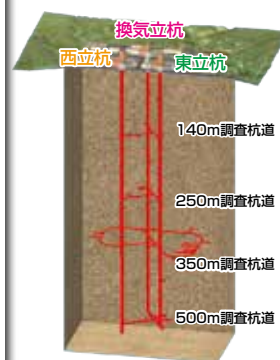
⑤立坑掘削再開



⑥床面へコンクリート打設



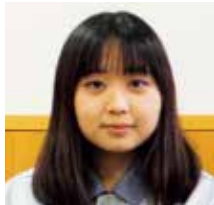
⑦最後の掘削箇所



地下施設イメージ
（掘削完了）

<センター職員を紹介します！>

- 所属：総務・共生課
- 氏名：児玉 樹里（こだま じゅり）
- 幌延歴：1年目
- 業務内容：研究内容や成果をわかりやすく外部へ発信する広報・渉外
- 仕事の苦勞、喜び：社会人1年目なので、日々勉強です。イベント参加を通じて顔を覚えてもらい、他の場所でも声をかけていただくとセンター広報の一助となっていると感じます。



●幌延の印象：4月の雪に驚きました。花が好きなので、見たことのない花が咲く北海道での暮らしはとても楽しいです。

- 所属：保安・建設課
- 氏名：丸田 健人（まるた けんと）
- 幌延歴：2年目
- 業務内容：地下坑道の工事管理、研究活動に伴う環境整備、施設運転保守業務
- 仕事の苦勞、喜び：掘削工事では今まで使ったことのないトンネル工事用語が飛び交い、慣れるまで大変でした。工事管理の仕事をしているので、事故無く工事が竣工することが喜びです。
- 幌延の印象：4月でも雪が残っておりとても驚きました。今は自然が豊かでとても過ごしやすい町だなと感じています。



センター QRコード

問い合わせ先: 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
幌延深地層研究センター: 電話・告知端末機: 5-2022
ゆめ地創館: 電話・告知端末機: 5-2772



ゆめ地創館QRコード

「地下の研究現場から」第61回



モグ太くん

「モグ太」です。

今回は、掘削開始から 20 年を迎えた地下施設の歴史を紹介させていただきます。

幌延深地層研究センターが地下施設の掘削を始めてから今年で20年を迎え、今年9月には深度500mの坑道掘削も完了しました。現在は坑道内の整備を進めています。

今回は地下施設の歴史を写真で振り返ります。

●地下施設の歴史

- ・ 2005.11 地下施設建設工事着手、掘削開始 (写真①)
- ・ 2006.4 掘削土（ズリ）置場整備工事開始 (写真②)
- ・ 2009.5 深度140m調査坑道貫通
- ・ 2010.6 深度250m調査坑道貫通
- ・ 2013.10 深度350m調査坑道貫通 (写真③)
- ・ 2014.8 人工バリア性能確認試験 模擬オーバーパック定置 (写真④)
- ・ 2023.9 深度500mに向け掘削開始 (写真⑤)
- ・ 2025.9 深度500m調査坑道の掘削完了 (写真⑥⑦)



①最初の一掘り



②トナカイ観光牧場さんの向かい



③深度 350m 調査坑道貫通



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第140号

- 発行 北海道幌延町議会
- 編集 議会報編集委員会
- 電話 01632-5-1111
- FAX 01632-5-2971

主な内容

一般質問（第5回定例会）	6～8
北海道町村議会議長会議会広報研修会	9
西天北五町衛生施設組合議会臨時議会	9
第5回まちづくり常任委員会	9～10
第5回定例会	10
令和6年度決算審査特別委員会	11～12
第6回臨時会	12
議会のうごき	12
トナカイ観光牧場視察	13
原子力機構報告会	13
編集後記	13



4氏が質問

一般質問 第5回定例会（9月16日）

地域の課題をとらえて

- 植村 敦
- 深澤 博幸
- 佐藤 忠志
- 無量谷 隆



上幌延地区で捕獲されたヒグマ

いる。

町長 令和7年9月に創設された「緊急銃猟制度」は、危険鳥獣が人々の生活圏に侵入し生命や身体に危害を及ぼす恐れがある場合、市町村長の判断で熟練した猟銃保有者が緊急対応できる制度。北海道からの支援や助言も受けられ、住民の安全確保が最優先。本町でもヒグマの出没が確認されており、備えが急務となっている。

◎鳥獣対策保護管理法改正について

質問 緊急銃猟を定めた改正鳥獣保護管理法の内容を伺いたい。



植村 敦

- ・鳥獣対策保護管理法改正について
- ・生活環境の向上対策について

質問 幌延町猟友会と関係機関を含めた研修や訓練が不可欠と考えるが。

町長 緊急銃猟の安全で効果的な実施に必要不可欠。地域の実情に即した効果的な研修や実地訓練などを関係各所と取り組む。

質問 緊急銃猟で出動要請したハンターに対する身分保障が明確でないが、どう考えているのか。

町長 現行制度では出動要請したハンターに対する法的責任や身分保障が明記されていない。これらの課題を補完する制度を整備する必要がある。

質問 猟銃保有資格者の育成支援対策を伺いたい。

町長 緊急銃猟制度の円滑な運用を図る必要があり、令和6年度から狩猟免許取得に係る経費の一部支援をしている。また、研修や実地訓練に要する経費など、

多面的な支援制度を考究する必要がある。

◎生活環境の向上対策について

質問▶生活環境向上政策の中でも特に熱中症対策としてクーラーの個人購入と設置に対する支援ができないか伺う。

町長▶近年、夏場の気温が上昇し、熱中症対策が必要な状況と認識している。

個人のクーラー設置支援を内部で検討したい。また、夏の暑さを避けるため、無料で利用可能なクーリングシェルターの指定も検討を進めたい。

質問▶町職員の職場環境改善や災害時の避難場所になることを考えると、早急に役場庁舎への冷房設備設置が必要ではないか。

町長▶役場庁舎は広さや電力の問題から全面的な改修となり、高額な費用を要することが想定される。

今後はスポット的な冷房設備の設置や現在の設備を活用した冷却方法などを考慮し、検討したい。



深澤 博幸

・幌延町地図情報更新事業について
・町内区域字幌延区域の変更に

◎幌延町地図情報更新事業について

質問▶昨年度から実施の地図情報事業の進捗状況と事業内容は。

角山農業委員会事務局長

平成12年度から平成13年度で初期整備。その後、平成26年度から平成28年度に

一度、地図情報事業更新を行い、バイパスや送電網の整備、土地利用の変更など、

その後の情勢を反映させる目的として3か年で情報更新。更新1年目は幌延、問

寒別市街の航空写真及びオルソ画像作成、2年目は町内全域の地形図作成、3年

目は幌延、問寒別市街の航空写真撮影、オルソ画像作成、地形図作成、ハードウェア更新について3か年で

の実施を計画。

進捗状況は、令和6年9月6日、町内全域の航空写真撮影、位置、面積、距離



幌延市街地区の航空写真

を正確に測量可能なデジタル化したオルソ画像の作業を予定しており終了。令和7年度は、標高や土地の起伏

について等高線を用いた地形図の作成予定。本年度1月30日、完了に向け、作業が順調に進んでいる。

質問▶農業委員会が幌延町地図情報更新事業の所管になるのか。

角山農業委員会事務局長

農業委員会所管事務でシステムを利用している。

質問▶この事業はいつから始まり何年ごとに更新するのか。

角山農業委員会事務局長

更新時期は明確に定めていないが、その後の土地利用などに係る情報変化を反映するため、平成26年度から平成28年度、前回更新から10年程度。

質問▶3か年の総額、国の補助金はないのか。

角山農業委員会事務局長

1年目、1千856万8千円、2年目、2千431万円、3年目、2千330万円。総事業費6千617万8千円。国の補助金メニューはない。

◎町内区域字幌延区域の変更について

質問▶町内住所は昭和34年4月1日に施行以来、現在の呼び名で経過。その中に字幌延が点在し、分かりにくさ、不便、イメージダウンがある。字名区域と町内会区域をどのように区分されているのか。

町長▶字名区域と町内会区域の明確な関連性はなく、

特定はできない。

質問▶過去に書類、文書などの誤配、返送のトラブルはなかったのか。

町長▶字幌延が広域であるに起因するトラブルなどなかったと認識している。

質問▶将来に向けて変更、改善する考えは。

町長▶個人の財産や戸籍、住民登録など影響が多岐にわたることから、社会的影響と効果を十分に検討し、慎重に行う。これまで字名への意見はなく、今後変更する考えはないが、町民の声が大きくなった際には検討したい。



問寒別市街地区の航空写真



防災備蓄庫

◎防災対策について

質問 欠員となっている防災専門員の採用は進んでいるのか。

町長 防災マネージャー資格を持った人材を登用すべく、関係機関に働きかけている。

質問 町内会の自主防災組織の活動状況は。

町長 町内全世帯の7割程度カバーしているが、設立から年数経過し、動きが停滞している組織もある。今



佐藤 忠志

- ・防災対策について
- ・ほろのべトナカイ観光牧場の管理運営について

◎ほろのべトナカイ観光牧場の管理運営について

町長 今回の大雨で雨量や降水時間によって、どの辺りが越水するか分かったのので、配水ポンプ車の出勤など対応したい。

質問 トナカイ観光牧場の入場者数がここ数年伸び悩んでいる。毎日オープンできないのか。

町長 テナント事業者の人手不足などで月曜日と火曜日を休館としているが、来場者の受け入れ体制の充実や満足度向上を考究し、入込数増加につなげたい。



8月の大雨による幌延1号線道路陥没

質問 観光シーズンの7月から9月の期間限定で毎日トナカイ観光牧場をオープンする考えはないのか。

町長 7月から9月は月平均の来場者が5千人を超える繁忙期だが、人手不足などの課題がある。今後、検討したい。

質問 休館日に来場した観光客が休憩やトイレ使用ができない。特に暑い日はひさしを付けた休憩施設が必要ではないか。

町長 休館日のトイレ使用や来場者の快適性や安全性を確保するうえで必要性が高まっている。強風対策など安全面に配慮したうえで検討したい。

◎パンケウブシ川の氾濫について

質問 パンケウブシ川上流の砂の堆積、太い木や段差、堰堤の問題など、町の管理状況を改善するための計画はあるのか。また、改善する際、上流地域に魚道を設けてはどうか。

町長 栄橋から上流の改修は未実施。治水対策を流域全体で進める必要があり、魚道整備も検討材料とする。

質問 塩ビ管の取水口の必要性をどう考えるか。

町長 塩ビ管による取水は、かつてパンケウブシ川からの排水の一部を幌延市街地へ流し、悪臭を回避する目的で設置され、現在は使用していない。

質問 幌延1号線の陥没は雪が降る前に直るのか。

町長 幌延1号線の復旧は今年度中完成を目途に早期着手を目指す。



無量谷 隆

- ・今回の一連の水害対策と教訓について



8月25日 下沼地区の牧草地冠水

質問 下沼地域は8月27日午前中から午後4時までに20cmほど水位が増加しているが、どういう理由で9時30分に町の災害対策本部が解散したのか。

町長 災害対策本部の解散は水位低下と警報解除を踏まえ、適切なタイミングで解散した。情報収集と巡回は継続した。

質問 町として被災者にお見舞いする考えはないのか。

町長 被災者への支援は災

害廃棄物の無料回収と災害見舞金支給を検討中。制度整備など早急に対応したい。

質問 今回の水害を教訓としてボックスのあり方を改善すべきでは。

町長 大雨でも今回の状況にならない対策を練る。

質問 普段、幌延1号線上に散水車をとめて取水している。改修の際に取水場所も考慮しては。

角山産業建設課長 改修の際、考慮する。改修中は取水を止める。

質問 どれだけの草地が冠水したのか。

町長 1千百1.9 ha。

質問 白扇橋下の方にバイパス工事ができれば、オンネベツ川の水がスムーズに抜けると思う。

町長 参考とする。

質問 被災者へのお見舞いをお願いしたい。

町長 早急に条例の整備をしてお見舞いをしたい。

北海道町村議会議長会 議会広報研修会

(8月19日 札幌市開催)

毎年開催される全道議会広報研修会がポールスター札幌で開催され、今回は幌延町議会広報委員全員が参加した。

講師の議会広報サポーター芳野政明氏による「議会の『見える化』&住民との『信頼築く』議会広報の基本と編集」と題して講話された。

全道町村議会の広報委員及び事務局500人以上が熱心に耳を傾けていた。町民に読まれる議会だよりを



議会広報研修会の様子

目指して、努力したいと再度、認識を新たにした研修会だった。

西天北五町衛生施設 組合議会臨時議会

(8月28日)

第3回西天北五町衛生施設組合議会が招集され、高橋秀之議員と深澤議員が出席。

令和6年度一般会計歳入6億4千1万5千522円、歳出5億8千5百47万2千155円、差引額1千8百54万3千367円の決算報告があり、全会一致で認定された。

令和7年度一般会計補正予算は、前年度破損した下水道汚泥を処理するスクリューコンベアの修繕料として1千3百54万3千円増額。議案1号から議案第5号を審議し、可決された。

第5回 まちづくり常任委員会

令和7年9月2日

○調査事項(抜粋)

- (1)総務企画課所管
- ①屋外放送設備改修事業について

現在の防災行政無線はアナログ無線のため、使用期限が迫っている。幌延地区及び問寒別地区の生涯学習センターにある『愛の鐘』を放送している設備を改修し、屋外に対する緊急情報を周知できるように整備する。今後はJアラートと連携もできるので、緊急情報も屋外に発信することができるとする。



②幌延深地層研究計画について

今年度3回開催された『幌延深地層研究の確認会議』の結果について報告があり、幌延町深地層研究計画が三者協定にのっとって進められていることを確認したとの報告を受けた。

③幌延町多世代交流施設整備事業基本計画・基本設計業務の進捗状況について

公募型プロポーザルで業者選考が行われた。今後、創生会議を設置し、町民の意見を聞く場を設け、令和8年1月の基本計画樹立を目指し、業務を進めていくとの説明があった。

☎トイレは24時間開放に対応してないように見える。

☞案を基に町民からの意見を取り入れて進めて行く。

(2)産業建設課所管

①上幌延開進地区及び問寒別地区農業用水道の簡易水道移行計画について

令和8年度からの供用開始に向け、幌延町簡易水道事業給水条例の一部改正が必要となり、新たに農業用

使用料が設定される。給排水管敷設工事は順調に進んでいる。

(3) 教育委員会所管

① 幌延中学校区小中一貫教育の進捗状況について

義務教育学校の開設は予定どおり令和10年4月とするが、現地調査や現場の人員調整など、施工可能日を考慮すると、工事完了期間が令和10年8月となり、新校舎の供用開始はそれ以降になるとの報告を受けた。

● 交付金は採択されるのか。
 ● 交付金の申請はしているが、継続して申請していく
 ● なお、北海道教育委員会にもお願いしている。

● 交付金が決定される前に確認申請できるのか。

● 北海道知事を通して文部科学省に要請している。また、補助金の大幅増を概算要求している。

② 東ヶ丘スキー場リフトについて

リフト減速機の検査などを実施した結果、振動検査の測定結果は、基準値内の数値で異常なく、油脂分析

では金属片など確認されなかったが、オイルの劣化が著しく、安全面を考慮してオイル交換を推奨するとあった。設備が老朽化しているため、今後使用する場合は、減速機と振れ止めを優先して更新したほうがよいと業者から指摘があった。令和7年度はオイル交換を実施してリフトを運行することとしたが、ナイター照明電源の絶縁不良が指摘され、改善されなければ日中のみの運行となるとの報告を受けた。

9月16日

第5回幌延町議会

定例会

第5回幌延町定例会は9月16日（火）に開会され、4名の一般質問のほか、認定7件、報告2件、同意2件、議案9件、意見書1件を原案どおり可決し、17日に閉会した。

認定第1号、認定第7号

決算特別委員会付託

報告第1号

令和6年度決算に基づく幌延町財政健全化判断比率報告第2号

令和6年度決算に基づく幌延町公営企業会計決算資金不足比率

同意第1号

教育委員会教育長の任命につき同意

伊藤一男氏（任期令和7年10月1日～令和10年9月30日）

同意第2号

教育委員会委員の任命につき同意

澤谷敦美氏（任期令和7年10月1日～令和11年9月30日）

議案第1号

幌延町簡易水道事業給水条例の一部改正

議案第2号、第4号

北海道市町村職員退職手当組合、北海道町村議会議員公務災害補償等組合、北海道市町村総合事務組合の各規約変更
 議案第4号

令和7年度幌延町一般会計補正予算（第2号）

齋賀委員 街路灯修繕費、

令和3年度にLED化が終

了しているが、何年度に交換したものか。

梶総務企画課長補佐 今回5

か所、令和3年度に設置したもので、ライトの照らす範囲が広がっているタイプのものが破損した。予備も含めて予算計上した。

齋賀委員 学校教育費の修繕料は何か。

古草教育次長 特別支援の必要な児童に対する仮設シヤワーの設置と町民プールの屋内避難誘導灯交換、スポーツ公園の浄化槽のブロ

ワー交換と総合体育館の誘導灯27台の交換として計上。

深澤委員 大雨による復旧事業について復旧場所は。

角山産業建設課長 幌延1号線、パンケウブシ川の測量調査を予定。

齋賀委員 災害復旧は現状復旧か改良復旧か。国へ災害復旧申請をするのはいつか。

角山産業建設課長 基本現状復旧とするが、幌延1号線とパンケウブシ川は現状復旧以上で考えている。

議案第7号

令和7年度幌延町国民健

康保険診療所特別会計補正予算（第2号）

齋賀委員 出張医の専門は。

村上国保診療所事務長 出張医の専門は循環器内科。

議案第8号

令和7年度幌延町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

深澤委員 子ども・子育て支援事業の内容と委託先は。

伊藤住民生活課長 子ども・子育て支援金制度は社会連帯の仕組み。後期高齢者医療のシステム改修をする。委託先は幌延町の基幹システムをお願いしている業者。



幌延町国民健康保険診療所

令和6年度 決算総額 77億4,365万円

一般会計 59億8,350万4千円

無量谷議員を決算特別委員長に選任し、審査の結果、原案通り認定されました。
一般会計、特別会計の決算額については、10月号の「ほろのべの窓」でお知らせしておりますので、
質疑応答について掲載します。

令和6年度決算審査特別委員会（抜粋）

《総務費》

深澤委員 地域コミュニティ形成事業の謝礼の内訳は、

山下地域対策担当課長 問寒別地区の地域活動の拠点を改修するためのデザインや設計の謝礼。

深澤委員 公用車修繕料の内訳は。

原田総務係長 町有バスの車検と公用車のタイヤ交換、ブレーキ修繕など。

深澤委員 職員が公用車を運転する際の安全管理は、

野々村町長 交通安全に対する訓練などの指示や乗車前に飲酒運転検査を実施。

深澤委員 交通違反の処置



町有バス

は。

岩川副町長 職員の懲戒処分に関する規定により処分。罰金、反則金は自己負担。

高橋秀之委員 自治管理費の修繕費の内訳は。

山下地域対策担当課長 問寒別町民会館玄関の段差対応や、横にスロープを設置。ほか、各集会施設の内部修繕などを実施。

高橋秀之委員 現在バイオマスは中止しているが地域振興管理費の負担金は払わないとならないのか。

梶総務企画課長補佐 バイオマス産業都市構想の正会員として支出が必要。

《民生費》

深澤委員 婚活支援事業の内容と国の生活応援事業の対象世帯は。

清水社会福祉係長 婚活支援事業は2回実施。生活応援事業は高齢者91世帯、障がい者4世帯、母子1世帯に支給。

《衛生費》

深澤委員 旧サロベツ清掃組合の管理費、手数料を支出している理由は。

伊藤住民生活課長 施設の草

刈を年4回実施している。豊富町からも按分で負担金を頂いている。

《土木費》

深澤委員 住宅費で不用額174万円の理由は。

角山産業建設課長 年度末の突発的な修繕が発生した場合に備えていたため。

《教育費》

齋賀委員 特別支援教育推進事業は何人分の決算か。

梶総務学校係長 幌延小学校勤務の支援員4名分。

齋賀委員 幌延小学校の遊具新設は小学校総務費に入っているのか。

梶総務学校係長 小学校総務費に含まれる。滑り台とブランコを新設した。

深澤委員 教育振興費の負担金、補助金及び交付金で不用額214万円の要因は。

梶総務学校係長 児童生徒学力向上支援事業の補助金予算が主な要因。

佐藤委員 週に3回、1日4時間程度の勤務内容で子供たちの心のサポートを実施しているが、支援員は納得して勤務しているのか。

を提示して公募している中で、納得の上で勤務している。今後も継続を希望している。

高橋秀之委員 美術館管理費の積立金は何のための積立金か。

田村教育次長補佐 心象会から心象館の今後の維持管理費用として寄付を頂いた。

《歳入一括》

深澤委員 固定資産税の滞納分は回収できるのか。また、対象人数は。

喜多税務住民係長 滞納解消に向けて鋭意、徴収に力を入れたが、徴収率を見ても一遍に集まる状態ではない。滞納者数は個人13名、法人4名。

佐藤委員 固定資産税の滞納は空家も含まれるのか。

喜多税務住民係長 家屋として認定している限り空家も課税対象になる。

佐藤委員 固定資産税増収の内訳は。

喜多税務住民係長 令和5年中に追加した固定資産の土地家屋償却資産が増加。

高橋秀明委員 電源立地交付金の使途は。

梶総務企画課長補佐 国

らの交付金は診療所、保健センター、こども園、へき地保育所の人件費。道からの交付金は消防幌延支署の人件費。

高橋秀明委員 深地層研究センターができて20年経過した。その間50億を超すお金があると聞くが。

岩川副町長 人件費に充当して浮いた額の半分程度を『ふるさと創生基金』や『公共施設等整備基金』などに積み立てている。今後、学校建設、多世代交流施設、下水道や道路など、インフラ整備への利用を考えている。

令和6年度決算（総括）

齋賀委員 社会教育費の地域おこし協力隊募集結果は。

田村教育次長補佐 スキー場の人員確保で募集を予定していたが、職員体制が変わらないので見送った。

齋賀委員 決算説明資料に公聴活動の充実に努めたところがあるが、情報ボックスも福祉の手帳も更新されていない。

い。

梶総務企画課長補佐 情報ボックスは作らなければならぬが、少し時間が欲しい。

清水保健福祉係長 福祉の手帳は各課から情報収集して更新作業を進めたい。

高橋秀之委員 こざくら荘支援事業補助金の増額要因は。



こざくら荘

清水保健福祉係長 外壁の修繕に対する支援と職員の処遇改善加算が制度改正により直接職員に還元されることにより人件費が増額した。

高橋秀之委員 名山台の建物は現在使われていないが、今後、建物をどうするのか。

伊山産業建設補佐 閉鎖しており、撤去に向けて経費の算出など、早急に対応したい。

たい。

佐藤委員 生活応援事業の支援者人数は。

清水保健福祉係長 予算は150世帯で、実際の申請は96世帯。

特別会計

〈国民健康保険診療所〉

齋賀委員 現在病床数は19床あるが、看護師や医師の人材が不足する中、現在の病床を維持しないとならぬのか。

国からは病床削減に対して補助金などもあるので、再検討すべき時期ではないか。

野々村町長 病床数は議会

や町民と議論を重ねて設定した経緯がある。今後、救急患者の受け入れなども考慮し、バランスの取れた形で運営体制を再構築したい。診療所長の意見や住民の声も聞きながら、近いうちに議論を進めたいと考える。

佐藤委員 看護師が不足している状況の中、現在の診療所内でのローテーションや夜勤体制がどのように運

用され、職員の不満が生じないよう配慮されているのか。

村上国保診療所事務長 看護師4名が欠員しており、現在は派遣看護師で対応している。派遣看護師を含めると、定員数は確保できており、夜勤を含めた通常どおりのシフトを組んでいる状況。ただし派遣契約終了後に次の派遣が確保できない場合、在職職員に負担が生じる可能性がある。その際はできるだけ早期に派遣先の確保に努め、勤務体制の安定を図りたい。

千円の増額補正。
齋賀委員 工期はいつまでか。
角山産業建設課長 3月末まで見えているが、なるべく早く完了できるようにしたい。

植村委員 大雨による道路の災害箇所は何か所か。
角山産業建設課長 道路7か所、取付け道路2か所。

植村委員 除雪に支障は出ないのか。
角山産業建設課長 除雪に支障が出ないスケジュールを組みたい。

植村委員 激甚災害の指定はいつ頃か。
角山産業建設課長 激甚災害の指定時期は未定。

臨時会 10月10日 第6回幌延町議会

第6回幌延町臨時会は10月10日（金）に開会され、議案1件を原案どおり可決し、同日に閉会した。

議案第1号

令和7年度幌延町一般会計補正予算（第3号）

8月の大雨により被災した道路の復旧工事及び測量設計費などで4千388万4



8月17日 幌延駅前冠水

議会の動き

- 9月2日 ▶ 第5回まちづくり常任委員会を開催し、委員長ほか7委員が出席
- 9月2日 ▶ 第1回情報推進常任委員会を開催し、委員長ほか7委員が出席
- 9月16日～ 17日 ▶ 第5回幌延町議会定例会が開催され議員全員出席
- 9月24日 ▶ 幌延中学校で出前授業を実施し、深澤委員長、佐藤副委員長が出席
- 10月10日 ▶ 第6回幌延町議会臨時会が開催され議員全員出席
- 10月10日 ▶ 幌延中学校で出前授業を実施し、全議員出席
- 10月21日～ 23日 ▶ 原子力機構報告会が東京都で開催され、議員4名が出席

行政視察 トナカイ観光牧場 令和7年10月10日

9月定例会で佐藤議員からトナカイ観光牧場トイレ開放について一般質問があり、議員全員で視察を行った。

角山産業建設課長および伊山課長補佐によると、休館日はレストラン側をシャッターで封鎖し建物右側通路から出入りすればトイレの使用は可能だが、課題は冬期間の屋根からの雪庇（せつぴ）で、課題解消に向け検討したいとの説明を受けた。



トナカイ観光牧場を視察

その後、トナカイと花壇を視察し、最後に試作品の幌延産ブドウを使用した羊羹（ようかん）を試食したが、ブドウの風味が感じられ、なかなかの評判だった。今後の特産品として期待される。



原子力機構報告会にて成果展示パネルブースを見学

第20回原子力機構報告会並びに原子力機構設立20年レセプションに参加 齋賀 弘孝

10月22日に、東京で原子力による新たな価値の創造に向けて、日本原子力研究開発機構が目指す未来が報告された。

小口正範理事長の基調報告が始まり、四つの個別報告があった。今回は映像や模型を用いて分かりやすく紹介、報告された。地元幌延研究センターからも栗林千佳さんが研究センター500メートルの研究所と題し、地下施設を紹介した。これは参加者から好評で、

まず地下で作業するヘルメットと作業服での発表、そして現地幌延との生中継もありと、会場から笑いもあり和やかな雰囲気であったという間の15分だった。

現地の中継では観光牧場のトナカイとのふれあいも紹介され、大きな歓声があり、トナカイ、幌延、研究所と改めて認知された。この報告後、幌延町の物産販売所ではトナカイ肉缶詰が品切れとなるなど盛況であった。

議会を傍聴しませんか！

議会は町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。

皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などをぜひ直接ご覧ください。

12月定例会は12月10日に開会します。

編集後記

暦の上では12月。早いもので、令和7年がもう過ぎようとしています。

今年の夏は異常気象により全国各地で記録的な猛暑日が続きました。また、線状降水帯が発生し、大雨などの水害が多発しました。

我が町でも8月17日、20日、26日に大雨による浸水や牧草地、道路の冠水被害がありました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

さて、これから冬将軍がやってきて北海道の長い冬が始まりますが降雪による雪害対策は万全でしょうか。これからも町民皆様の声を届ける議会活動を行ってまいりますので、どうぞよろしく願いたします。

議会報発行編集委員

委員長 深澤博幸
副委員長 佐藤忠志
委員 無量谷隆
委員 高橋秀明

12月は“町税等の徴収強化月間”です！

町では、12月を「町税等徴収強化月間」と定め、町税（道町民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）および使用料（介護保険料、後期高齢者医療保険料、保育料、町営住宅料、水道料、下水道料、医療費）などの徴収強化に取り組みます。

【徴収強化の取り組み】

●納付相談

町税や使用料などを納期限内に納めることが難しい方の相談を随時受け付けていますので、ご相談ください。

●催告と訪問徴収

納期を過ぎても納付していない方には、文書、電話による催告、自宅や勤務先へ訪問します。

●滞納処分などの強化

町税や使用料などの滞納者で、完納に向けた納付意思が認められない方、納付誓約を守らない方などに対し、勤務先への給与調査、官公署や金融機関への財産調査などを実施し、差し押さえなどの滞納処分を行います。

【納付書をご確認ください】

お手元の納付書などをご確認いただき、まだ納付していない町税や使用料などがありましたら、お早めに納付ください。

なお、納付書が見当たらない場合は、役場までお越しいただくか、電話でお問い合わせください。

【便利で確実な口座振替をご利用ください】

口座振替は、預金口座から町税や使用料などが各納期限に合わせて自動的に引落とされますので、日中お忙しい方や不在がちな方到大変便利です。

口座振替を希望される方は、預金通帳と通帳使用印をご持参のうえ、町内の金融機関でお申し込みください。

納付に関する相談は随時受け付けておりますので、お早めにご相談ください。

お問い合わせ先

		電話	告知端末機
・町税、後期高齢者医療保険料	住民生活課	5-1112	5-8812
・介護保険料	保健福祉課	5-1113	5-8813
・町営住宅料、水道料、下水道料	産業建設課	5-1116	5-8816
・保育料	認定こども園	5-1254	5-1254
・医療費	幌延町国民健康保険診療所	5-1221	5-1221

固定資産税の家屋に係る手続きなどについて

固定資産税は、毎年1月1日現在の状況に基づいて4月から始まる年度分について課税されるため、家屋の関係で変更があった場合は、課税の基礎となる評価額算定などのため、届出を役場にする必要があります。

1. 固定資産税の家屋に係る主な手続きについて

①家屋を取り壊した場合

「家屋滅失届」を住民生活課に提出してください。（後日、担当職員が現地確認を行います。）

②家屋の名義を変更した場合

「家屋名義変更届」を住民生活課に提出してください。

③家屋を新築・増築した場合

新たに固定資産税が課税されます。課税の基礎となる評価額を算出するため、担当職員が伺いますので、完成後お早目にご連絡ください。

※①、②について登記家屋の場合、滅失登記、所有権移転登記をすることで、家屋滅失届、家屋名義変更届の提出が不要となります。

2. 固定資産の現況確認の実施について

地方税法の規定により、毎年10月から12月にかけて現況確認を行っています。

3. 留意事項

- ・1月2日以降に取り壊した家屋については、そのまま課税されますが、翌年度から課税されません。一方、1月2日以降に新築された場合には、翌年度まで課税されません。
- ・住宅を取り壊した場合は、住宅用地の特例が適用されなくなるため、土地に係る固定資産税が高くなる場合があります。

不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：住民生活課 税務住民係 電話：5-1112 告知端末機：5-8812

12～3月の運転免許更新時講習のお知らせ

開催月日	開催場所	初回更新者講習(2時間)	優良運転者講習(30分)	一般運転者講習(1時間)	違反運転者講習(2時間)
12月2日(火)	天塩町社会福祉会館		13:00～		
12月6日(土)	豊富町定住支援センター「ふらっときた」		13:00～	14:00～	15:30～
12月13日(土)	遠別町生涯学習センター「マナピィ21」		13:00～		
1月13日(火)	天塩町社会福祉会館	10:00～	13:00～	13:45～	15:00～
1月14日(水)	幌延町消防署二階		18:30～		
2月3日(火)	天塩町社会福祉会館		13:00～		
2月7日(土)	豊富町定住支援センター「ふらっときた」		13:00～	14:00～	15:30～
2月14日(土)	遠別町生涯学習センター「マナピィ21」		13:00～		
3月3日(火)	天塩町社会福祉会館	10:00～	13:00～	13:45～	15:00～

年末年始の公共機関等休業について(12/30(火)～1/6(火))

機関・施設名	12/30 (火)	12/31 (水)	1/1 (木)	1/2 (金)	1/3 (土)	1/4 (日)	1/5 (月)	1/6 (火)
役 場 問寒別出張所 認定こども園 問寒別へき地保育所 農村環境改善センター(保健センター) 国民健康保険診療所 ※1 患者輸送車両 幌延町移住情報PR支援センター「ホロカル」 幌延町産業・地域振興センター「ホロカル臨時店舗」 問寒別地域交通車両		休	休	休	休	休	休	
町立歯科診療所 ※2	休	休	休	休	休	休		
スクールバス(幌延地区・問寒別地区) 金田心象書道美術館	休	休	休	休	休	休	休	
幌延町生涯学習センター 問寒別生涯学習センター 総合体育館	休	休	休	休	休	休	休	休
老人福祉センター 公衆浴場		休	休	休				
東ヶ丘スキー場		休	休	休	休			
ごみ・し尿収集業務		休	休	休	休	休		

※1 休診日でも救急患者の受け入れをします。

※2 12月26日(金)午後から休業します。

「令和7年度全国学力・学習状況調査北海道版計画報告書」について

文部科学省が全国の小学6年生および中学3年生を対象として実施しました「令和7年度全国学力・学習状況調査」の本町の結果について、町のホームページで公表しています。

https://www.town.horonobe.hokkaido.jp/www_4/section/edu/le009f000001wd_0a.html

パソコン等で閲覧できない場合は、下記までお問い合わせください。



お問い合わせ先: 教育委員会 総務学校係 電話: 5-1117 告知端末機: 5-8817

10月25日(土)
11月8日(土)

問寒別へき地保育所生活発表会 認定こども園生活発表会

令和7年10月25日(土)に問寒別へき地保育所で、11月8日(土)に認定こども園で生活発表会が開催されました。

軽やかなダンスや、立派に歌う姿に、子どもの成長の早さを実感したのではないのでしょうか。



▶ 問寒別へき地保育所 ゆうぎ 『ブルブルブルドッグ』



▶ 認定こども園 はな組 ゆうぎ 『ジャングルぐるぐる』

10月25日(土)
10月26日(日)

第50回問寒別地区町民文化祭(展示部門)

令和7年10月25日(土)と10月26日(日)に、問寒別生涯学習センターで第50回問寒別地区町民文化祭が開催されました。

各サークルの作品や活動写真などの展示以外にも、体験コーナーや試食コーナーもあり、来場者を飽きさせませんでした。



▶ 手芸体験



▶ 展示の様子

10月26日(日)

第21回町民フットサル大会

令和7年10月26日(日)に、総合体育館で第21回町民フットサル大会が開催されました。

参加者の華麗な足さばきや鋭いシュートは、観客を賑わせていました。



▶スピード感あふれるドリブル



▶激しい球際の様子



11月7日(金)～
11月15日(土)～

少年少女文化祭

令和7年11月7日(金)から生涯学習センターで、11月15日(土)から問寒別小中学校第2体育館でそれぞれ、少年少女文化祭が開催されました。

習字や工作物などが展示され、大人も息を飲む力作が多数あり、見ごたえのある作品ばかりでした。



▶幌延地区



▶問寒別地区



あなたの年金に簡単便利な「ねんきんネット」をご活用ください

スマートフォンやパソコンから、ご自身の年金情報を手軽に確認できる「ねんきんネット」というサービスがあります。

～「ねんきんネット」ではこんなことができます～

(ねんきんネットはこちらから→https://www.nenkin.go.jp/n_net)



ご自身の年金記録の確認

- ①月別の年金記録 月別にどの年金制度に加入していたかを一目で確認
- ②国民年金の加入記録 国民年金の加入月数、各月の納付状況、免除制度 など
- ③厚生年金保険の加入記録 厚生年金の加入月数、標準報酬月額・標準賞与額 など

将来の年金見込額の試算

- ①かんたん試算 現在の加入条件が60歳まで継続したと仮定した場合の年金見込額を自動表示
- ②詳細な条件で試算 今後の働き方や、年金の受給開始年齢等の条件を自分で設定して試算

「ねんきん定期便」や各種通知書の確認

- 電子版「ねんきん定期便」 ●公的年金等の源泉徴収票
- 年金振込通知書 ●年金支払通知書
- 年金決定通知書・支給額変更通知書
- 社会保険料（国民年金保険料）控除証明書



<環境にもやさしい電子版「ねんきん定期便」をご利用ください>

紙の「ねんきん定期便」より1か月程度早く確認でき、環境にもやさしいペーパーレス化推進につながります。

ほかにもさまざまな便利な機能があります！

- ◆日本年金機構に提出する一部の届書を簡単に作成・印刷できます。
- ◆持ち主不明の年金記録の検索ができます。

～「マイナポータル」と「ねんきんネット」を連携してさらに便利に！～

(マイナポータルはこちらから→<https://myna.go.jp>)

- 扶養親族等申告書の提出がスマートフォンなどでできるようになりました！
- 電子送付の希望登録で確定申告に必要な控除証明書などが電子データで受け取れます！
※希望登録の方法は広報誌11月号のねんきん通信に掲載しています。
- その他オンラインでできるお手続き
 - ・国民年金第1号被保険者加入の届出（退職後の厚生年金からの変更等）
 - ・国民年金保険料の免除・納付猶予の申請
 - ・国民年金保険料の学生納付特例



お問い合わせ先：稚内年金事務所 電話：0162-33-7011

：住民生活課 税務住民係 電話：5-1112 告知端末機：5-8812

12月 町民くらしのカレンダー

期日	行 事	時 間	場 所
1 月	すきっぷくらぶ	10:00～11:00	子育て支援センター
2 火			
3 水	まちいちカフェ 心療内科・精神科	9:45～	保健センター 国保診療所
4 木	はつらつ教室	9:30～	保健センター
5 金	わくわくひろば 問寒別出張診療	10:30～11:30	子育て支援センター 問寒別国保診療所
6 土			
7 日	町内会対抗バレーボール大会	9:30～	総合体育館
8 月	出張ひろば	10:30～11:30	問寒別へき地保育所
9 火			
10 水			
11 木			
12 金	すまいるママ	11:00～	保健センター
13 土			
14 日			
15 月	なかよし保育	10:00～11:00	子育て支援センター
16 火	おてがるクッキング	10:30～	保健センター

期日	行 事	時 間	場 所
17 水	心療内科・精神科		国保診療所
18 木	はつらつ教室 すくすく健診	9:30 13:00～	保健センター 保健センター
19 金	まちいちカフェ わくわくひろば	9:45～ 10:30～11:30	保健センター 子育て支援センター
20 土	トナカイホワイトフェスタ	11:00～15:00	トナカイ観光牧場
21 日	東ヶ丘スキー場オープン (予定)		
22 月	すきっぷくらぶ	10:00～11:00	子育て支援センター
23 火			
24 水	親子サロン	10:30～11:30	子育て支援センター
25 木	各小中学校終業式 (12/26～1/19冬休み)		
26 金	図書企画展(2/1まで)		幌延町生涯学習センター
27 土			
28 日			
29 月			
30 火	御用納め		
31 水			

※ 子育て支援の事業については告知端末機でご案内します。随時ご確認ください。



■お悔み申し上げます
藤門 一三さん(93歳)字開進
宮田 紀子さん(84歳)宮園町
生出 美子さん(71歳)字幌延

☆お誕生おめでとう
森田 久理栖さん(父聖也)元町
石川 璃空くん(父泰樹)東町
石川 莉瑚くん(父泰樹)東町
大堀 進くん(父竜弥)一条北2

戸籍の窓

11月

◇幌延町社会福祉協議会へ
(香典返しの一部)
宮田 憚さん(妻)宮園町
水澤 富喜子さん(夫)字幌延

ご寄付ありがとうございます
ごさいます

11月

地域おこし協力隊

通信

VOL.119

集落支援担当 小林典之隊員



皆さま、こんにちは。地域おこし協力隊の小林です。11月3日に開催された「といかん・ふるさと同窓会 in 東京」に参加させていただきました。

前半の同窓会には41名の方々がご参加くださり、うち半数がといかん出身または居住経験者、残り半数が「といかんラブ」の皆さまでした。出身者や居住経験者の方々は旧交を温めたり、まさに同窓会のような雰囲気です。世代を超えた交流が広がり、大変盛況でした。会の間は「ミナといかん」事務所とオンラインで中継を行い、現在のといかんについての質問ややり取りもあり、終始ほのぼのとした温かい雰囲気に包まれていました。特に印象的だったのは、「といかんラブ」の皆さまの多さと、その深い愛情です。といかんと心から応援してくださる方々との交流は、私自身にとっても非常に楽しく、心温まるひとときとなりました。

後半の懇親会には、私と役場関係者を含めて24名が参加され、出身・居住経験者が6名、「といかんラブ」の方が16名と、こちらも多くの方々にご参加いただきました。懇親会では、出身者とラブ枠の皆さまとの交流がさらに盛り上がりを見せ、笑顔の絶えない時間となりました。

この「といかん・ふるさと同窓会 in 東京」の趣旨は、関係人口を増やし、都会と田舎の相互交流を通じて、といかんと元気にしていくことです。

今回いただいた貴重なご意見を参考に、今後も第2回、第3回と継続して開催していけたらと考えております。また、東京以外でも問寒別ゆかりの方が多い地域での開催も検討していきたいと思っております。その際は皆さんも現地とのオンライン中継に是非参加していただけると嬉しいです。



▲同窓会の様子



▲懇親会の様子

■今月号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。先月号の裏窓で身体に気を付けてくださいと言いつつ風邪を引いた菅原です。年々風邪の治りが遅くなっているような気がします。

■先月号より担当しておりますが、広報誌の記事で使用する写真の選定に苦労しています。撮影者である私がカメラに不慣れということもあり、なかなか「これだ！」という写真が撮れず、記事・写真ともに広報誌製作の難しさを実感しております。

■この広報誌が皆さんのお手元に届く頃には、今年も残すところ1ヶ月を切っているぐらいでしょうか。ちよつと早いですが、皆さん良いお年をお迎えください。

ほろのべの裏窓

十月定例俳句会作品 幌延ほおずき俳句会

分かれゆく雲の行方や秋の峰
秋嶺や土産に拾う葉の葉
頂を湖の底まで秋の峰
黄に染めて秋冷ややかに山降りぬ
秋嶺に抱かれ過ぎし学の日々

熊谷 陽一
小川 遼太郎
熊谷 千恵子
田中 順子
富樫とも子



まちのうごき

人口

男	1,057 (2)
女	954 (-1)
合計	2,011 (1)

世帯数 1,179 世帯 (2)

令和7年10月末日現在 ※ () 内は前月比

広報へのご意見、ご要望をお寄せください

総務企画課 企画振興係

電話 5—1114 / 告知端末機 5—8814



広報ほろのべの窓 12月号

令和7年12月
発行／幌延町

企画・編集／総務企画課 企画振興係 印刷／株式会社須田製版
幌延町ホームページアドレス／<https://www.town.horonobe.lg.jp>

UD FONT この広報誌は、読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを採用しています。

●この広報誌は、資源保護のため再生紙を利用しています。